

安全データシート

非晶質シリカ(シリカゲル、沈降シリカ)

連絡先:

会社名 日本ニュートリション株式会社

住所 東京都港区南青山一丁目1番1号 新青山ビル西館 22階

電話番号: 03-5771-7890

FAX 番号: 03-5771-7894

緊急連絡先: 03-5771-7890

作成年月日: 2026年3月3日

1. 化学品名及び会社情報

化学品の名称	非晶質シリカ
供給者の会社名称	日本ニュートリション株式会社
住所及び電話番号	東京都港区南青山一丁目1番1号 TEL:03-5771-7890
用途	飼料または飼料添加物
使用上の注意	なし

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	区分に該当しない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	区分に該当しない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	区分に該当しない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	区分に該当しない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	区分に該当しない

非晶質シリカ（初版）

健康有害性	有機過酸化物	区分に該当しない
	金属腐食性化学品	区分に該当しない
	鈍性化爆発物	区分に該当しない
	急性毒性（経口）	区分に該当しない
	急性毒性（経皮）	区分に該当しない
	急性毒性（吸入：ガス）	区分に該当しない
	急性毒性（吸入：蒸気）	区分に該当しない
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	区分に該当しない
	皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分に該当しない
	呼吸器感作性	区分に該当しない
	皮膚感作性	区分に該当しない
	生殖細胞変異原性	区分に該当しない
	発がん性	区分に該当しない
	生殖毒性	区分に該当しない
	生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響	区分に該当しない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分に該当しない
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分に該当しない
	誤えん有害性	区分に該当しない
	環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性）
水生環境有害性 長期（慢性）		区分に該当しない
オゾン層への有害性		区分に該当しない
GHS ラベル要素		
絵表示またはシンボル	該当なし	
注意喚起語	該当なし	
危険有害性情報	該当なし	
注意書き	該当なし	
3. 組成及び成分情報		
化学物質・混合物の区別	化学物質	
化学名又は一般名	非晶質シリカ	

非晶質シリカ（初版）

化学物質を特定できる一般的な
な番号 CAS No.112926-00-8
成分及び濃度又は濃度範囲 100%
官報公示整理番号 1-548（化審法）

4. 応急措置

吸入した場合 製品の粉じんが放出された場合：起こりうる不快感：
咳、くしゃみ 空気の新鮮な場所に移動する。

皮膚に付着した場合 多量の水と石鹼で洗うこと。

眼に入った場合 異物反応による不快感が生じる可能性がある。まぶ
たを開いた状態で多量の水で完全に洗い流すこと。
不快感が続く場合：眼科医の診察を受けること。

飲み込んだ場合 口を水で洗浄し、その後多量の水を飲む。多量に吸
収した場合/不快感がある場合：医師の診察を受ける
こと。

急性症状及び遅発性症状の 症状：知見なし
最も重要な兆候及び症状 危険有害性情報：データなし
応急措置をする者の保護に必 ータなし
要な注意事項
医師に対する特別な注意事項 データなし

5. 火災時の措置

適切な消火剤 水噴霧、泡消火剤、二酸化炭素、粉末消火剤 周辺状
況を考慮して消火剤を選択すること。

使ってはならない消火剤 棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火し
たりするので、行ってはならない。

特有の危険有害性 知見なし
特有の消火方法 消火水を排水設備、土壌、水系に流入させないこと。
十分な消火用水供給施設を確保すること。 火災焼残
物及び汚染された消火水は国及び地方自治体の条例
に従って処理すること。

消火活動を行う者の特別な保 火災時には、独立給気式呼吸用保護具と化学保護衣を
護具及び予防措置 着用すること。

6. 漏出時の措置

非晶質シリカ（初版）

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	個人用保護具を使用する。粉じんの発生を避ける。
環境に対する注意事項	下水、土壌、水系、地下水、排水設備に流入させないこと。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏洩物を掃き集めるあるいは吸引し、適切な容器に回収して廃棄すること。
二次災害の防止策	データなし
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	作業場あるいは作業機械付近では、適切な吸引/通気を実行すること。必要であれば局所換気を行うこと。
安全取扱注意事項	必要に応じて局所換気を行うこと。適切な労働衛生および安全対策を講じて取り扱うこと。皮膚/眼への接触の可能性がある場合、指示された手/眼/身体保護具を着用すること。作業場の許容濃度閾値を超える、もしくは大量に放出した場合（漏れ、こぼれ、粉じん）、指示された呼吸用保護具を着用すること。個人用保護具については 8 項を参照すること。粉じんの発生を避ける。静電気放電に対する予防措置を講ずる。
接触回避	10 項を参照。
衛生対策	この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。休憩前及び作業終了後は顔や手を洗うこと。皮膚保護を行うために、高脂肪石鹸及びスキンケア用クリームを使用することが望ましい。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
保管	
安全な保管条件	静電気放電に対する予防措置を講ずる。乾燥した場所におくこと。現地/地域/国/国際規則に従って保管すること。
安全な容器包装材料	データなし
8. ばく露防止及び保護措置	
許容濃度（ばく露限界値、生物学的指標）	ばく露限界値：第三種粉じん 吸入性粉塵：2mg/m ³ TWA

非晶質シリカ（初版）

総粉塵：8mg/m³ TWA

（JPJSOH OEL (05 2023)）

詳細については、適切なテキストソースの最新版を参照し、産業衛生士または同等の専門性を有する人物、または、地方の該当機関に相談してください。

生物学的許容値：成分の生物学的暴露限界値は指摘されていない。

設備対策

作業場あるいは作業機械付近では、適切な吸引/通気を実行すること。必要であれば局所換気を行うこと。

保護具

呼吸用保護具

粉じんが発生する場合：P2 粒子フィルター付の粉じんマスク

手の保護具

次の素材でできた保護手袋を着用する：ゴム、革

補足情報：素材の破過時間/強さに関するデータは、分解されていない固体/粉塵には当てはまらない。特定の作業場の条件に合わせた保護手袋を選択すること。製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。

眼の保護具

側面シールド安全メガネ

粉じんが発生する場合：密着型保護ゴーグル（例えば、密閉型ゴーグル）

皮膚及び身体の保護具

特別な保護具は必要ではない。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体
色	白
臭い	無臭
融点/凝固点	約 1,700°C
沸点又は初留点及び沸点範囲	該当しない。
可燃性	該当しない。
爆発下限界及び爆発上限界/	該当しない。
可燃限界	
引火点	該当しない。固体

非晶質シリカ（初版）

自然発火点	該当しない。
分解温度	> 2,000℃
pH	6 (20℃) 方法：DIN / ISO 787 / 9 濃度：50 g/l 懸濁液
動粘性率	該当しない。固体
溶解度	水：ほとんど溶解しない
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	該当しない。
蒸気圧	該当しない。
密度及び／又は相対密度	約 2 g/cm ³ (20℃) 方法：DIN / ISO 787 / 10
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他の情報	
爆発性	化学構造上想定されない。
酸化能力	化学構造上想定されない。
自己発火性	該当しない。
可燃性ガスの生成	知見なし。
粉塵爆発特性	粉じん爆発の危険性を示さない。
蒸発速度	該当しない。
最小着火エネルギー	該当しない。

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の使用条件下では危険な反応は知られていない。
化学的安定性	推奨された保管条件下において安定。
危険有害反応可能性	正しい取扱い及び保管においては、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	危険有害性は知られていない。
混触危険物質	知見なし。
危険有害な分解生成物	知見なし。通常の下では安定である 危険な重合反応を起こさない。

11. 有害性情報

非晶質シリカ（初版）

一般情報	珪肺症あるいはその他の製品特有の呼吸器官の疾病は、この製品に関しては観察されなかった。
可能性のある暴露経路に関する情報	吸入した場合：データなし 皮膚に付着した場合：データなし 眼に入った場合：データなし 飲み込んだ場合：データなし
物理的、化学的および毒物学的特性に関連した症状	吸入した場合：データなし 皮膚に付着した場合：データなし 眼に入った場合：データなし 飲み込んだ場合：データなし
急性毒性	
経口	LD 50, ラット, 雌雄, > 5,000 mg/kg, OECD 401 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。
経皮	LD 50, ウサギ, > 5,000 mg/kg 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。
吸入した場合	LC 50, ラット, 雌雄, 4 h, > 5.01 mg/l, OECD 436, 粉じん及びミスト 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。
反復投与毒性	NOAEL (無毒性レベル) ラット, 雄, 経口, 28 Days, 7 日/週, >= 1,000 mg/kg 悪影響はない。
皮膚腐食性／刺激性	OECD 404, (ウサギ), 刺激しない 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	OECD 試験法と類似の方法, ウサギ, 刺激しない 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	局所リンパ節試験 (LLNA) , OECD 429, マウス, 皮膚に対する感作性はない。 マキシマイゼーション試験, OECD 406, モルモット, 皮膚に対する感作性はない。
生殖細胞変異原性	変異原性作用の証拠なし。 In vitro :

非晶質シリカ（初版）

	遺伝子突然変異試験, OECD 471, 陰性 遺伝子突然変異試験, OECD 490, 陰性 染色体異常, OECD 473, 陰性 In vivo : 染色体異常, OECD 475, 経口, ラット, 雄, 陰性 発がん性の可能性の証拠なし。 ヒトに対して発がんリスク評価に関する IARC モノグラフ: 発がん性物質を含まないか、規制値以下である。 米国。発がん性に関する国家毒性プログラム (NTP) レポート: 発がん性物質を含まないか、規制値以下である。
発がん性	
生殖毒性	妊娠に対する影響: 生殖毒性の証拠なし。 胎児の発育への影響: 利用可能なデータに基づき分類区分外。 アセスメント: 生殖毒性の証拠なし。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	危険有害性を示す証拠なし。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	危険有害性を示す証拠なし。
誤えん有害性	該当しない。
その他の危険有害性情報	入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。

12. 環境影響情報

生態毒性	水生植物毒性: EC50, <i>Scenedesmus subspicatus</i> (イカダモ), 72 h, > 173 mg/l, OECD 201 微生物に対する毒性: EC50, 活性汚泥, 3 h, > 2,500 mg/l, OECD 209
水生環境有害性 短期 (急性)	魚類: LC 50, <i>Brachydanio rerio</i> , 96 h, > 10,000 mg/l, OECD 203, 結果は見かけ濃度 (nominal concentration) に基づく。 水生無脊椎動物: EC50, オオミジンコ, 24 h, > 1,000 mg/l, OECD 202, 結果は見かけ濃度 (nominal concentration) に基づく。
水生環境有害性 長期 (慢性)	魚類: 利用可能なデータに基づき分類区分外。

非晶質シリカ（初版）

残留性・分解性	水生無脊椎動物:利用可能なデータに基づき分類区分外。 生物分解:生分解性の試験方法は無機物質には適用されない。 BOD/COD 比:利用可能なデータに基づき分類区分外。
生態蓄積性	生物濃縮因子 (BCF) : 想定されない。 n-オクタノール/水分配係数 (log Kow) : 該当しない。
土壤中の移動性	注目に値する土壤中の移動性は想定されない。
オゾン層への有害性	国際規制: 特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律施行令 政令 308 号 別表 注意: 規制されない

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物), 当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で, かつ, 環境上望ましい廃棄, 又はリサイクルに関する情報	残余廃棄物: 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にすること。廃棄においては、関連法規及び地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、又は地方公共団体がその処理を行っている場合には当該業者又は団体に委託して処理すること。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託すること。 汚染容器及び包装: 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
--	--

14. 輸送上の注意

国際規制	
陸上輸送(UNRTDG)	危険物として規制されていない。
航空輸送(IATA-DGR)	危険物として規制されていない。
海上輸送(IMDG-Code)	危険物として規制されていない。
MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質	供給された状態の製品には非該当。

非晶質シリカ（初版）

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

労働安全衛生法

通知対象物：

非晶質シリカ（シリカゲル及び沈降シリカに限る）

施行日：2026/04/01

表示対象物：

非晶質シリカ（シリカゲル及び沈降シリカに限る）

施行日：2026/04/01

粉じん障害防止規則

当該規則に定める「鉱物」に関する作業に該当する場合は、当該規則に従って取り扱うこと。

16. その他の情報

この安全データシートは、いくつかの安全データシートの情報を参考にして、日本ニュートリション株式会社が作成したものです。全ての資料や文献を調査したわけではないため、情報に漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、別途、資料や文献を調査し検討されるか、試験によって確かめることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常取り扱いを想定しており、特殊な取り扱いの場合には、別途注意が必要になることをご配慮ください。

<引用文献>

- 原料メーカー提供の安全データシート(SDS)
- その他、各データごとに記載

<改訂履歴>

版	日付	内容
初版	2026年3月3日	—